

水 痿

理念

障害があっても人間としての尊厳をもって生きることを支援する
リハビリテーション医療・介護をめざします。

第9号

2009. 2

鶴岡協立リハビリテーション病院
広報委員会

〒997-0346
山形県鶴岡市上山添字神明前38
TEL 0235-78-7511 FAX 0235-78-7515
<http://www.turuoka-kyoritu-hp.or.jp>
E-mail:smcrh_ga@yamaikyo.or.jp



2階 南病棟 入院中の患者様達が、
作業療法の訓練（手芸）で作成したものです。

もちつき大会



3F療養病棟では、1月14日に2009年を迎えて初のリクレーション「もちつき大会」を開催しました。“1日1日を大切に”という師長の言葉からスタートし、食堂に並んだ患者様は今から何があるのだろうとワクワク(^o^) OTと3Fスタッフによる獅子が現れると、ファ～！という歓声!!一人ひとりの頭を噛む獅子に手を合わせ、今年1年を祈願している姿はとても印象的でした。その後、歌を歌った後いよいよ餅つき。昔ながらの杵と臼での餅つきに気合い充分。餅をつくのに合わせた“ヨイショ！”のかけ声にますます笑顔で、普段のリハビリ以上に高く手を挙げたり、力を込めていました。きれいについた餅をスタッフがまるめ、患者様が木に飾るだんご木を作り、皆さん満足げな顔をしていました。

今年も良いスタートを切ることができました！(^^)!



全職種参加症例検討会



当院では2002年から

- ① リハビリ医療を実践する中で困難な事例を全職種で共有し意見交換する場
- ② 特異な疾患や障害などを学び合う場
- ③ 家族を含め地域連携の学びを深める場

を目的に年1～2回定期的に検討会を開催してきました。日常的にはカンファレンスなどで他職種と情報交換や方針を共有しながらリハビリ医療を実践していますが、時には家族や地域の方、福祉関係の方から参加していただくなど民主的集団医療を目指す院所として、またスタッフの学びにと貴重な場になっています。今年度も1月28日に第1回全職種参加症例検討会が72名の参加で開催され、テーマ「事故による頭部外傷で重度後遺症を負

西小ボランティア



櫛引西小学校の6年生（約50名）が、奉仕活動と患者・利用者様との交流を主な目的として、4日間ボランティアに来てくれました。3つの病棟とデイケアに数人ずつ分かれ、窓ふきやエプロンたたみ、洗面所の清掃、などの奉仕活動を行ったり、患者様とおしゃべりしたり、けん玉をして見せたり、一緒にトランプや折り紙をして交流を図ったりしました。最初はお互いに言葉も出さぎこちない様子でしたが、子供達が歌った校歌に涙したり、一緒に歓声を上げながらゲームをしたりと、患者・利用者様もとても楽しいひとときを過ごしました。インフルエンザの流行時期でもあり、子供達からは全員マスクを着用してもらいましたが、マスクの脇からのぞく真っ赤なほっぺたに、ある患者様は「めっこいの～」と目を細めしていました。



った少年・家族へのアプローチ＝地域で患者・家族が安心して生き生きと暮らせる為に」と題し、意見交換がなされました。現状の診療報酬では期限に縛りがある回復期リハ病棟で、諦めず可能性を見極め機能訓練を続けていた事、庄内では若年で障害を持った患者・家族の受け皿がまだまだ弱く家族が大きな不安を抱えている事、障害受容には数年を要しその間は患者・家族が自ら受け入れていく過程を見守り傾聴する、などその役割を当院が医師・ソーシャルワーカー・リハスタッフ・病棟が連携しながら援助している事を改めて確認し合う事が出来ました。 事務局：太田



デイケア (通所リハビリ)



デイケアには多くの職員とボランティアの方が関わっています。毎日の送迎業務に携わる運転手や、ボランティアあじさいの会の方は、お茶出しや利用者様とお話などををしていただいて、身近に寄り添ってくださっています。訪問ボランティアさんは、踊りやマジック、コーラス等を披露してくださいます。

毎日明るく元気に、利用者様と一緒にアットホームなデイケアで頑張っています！



デイケアボランティアの皆さん

こんにちは！

私達はデイケアで働く看護師、介護士、リハビリ技師、事務のスタッフです。

住み慣れた地域で、在宅で、いつまでも生活を続けてくださることを目指し、支援しています。

機能訓練、健康管理、保清、栄養管理、環境整備、レクリエーション等、日々利用者様に提供しています。また、季節を感じたり、外出することで楽しみや目標を持って生活ができるよう、お花見・買い物ツアー・遠足などを季節行事として取り組んでいます。



編集後記



2009年最初の水焰発行です。今年もよろしくお願いします。

風邪、インフルエンザが流行しています。

当院でも“移らない、移さない”を合い言葉に、マスク着用警報を発令し、注意を呼びかけています。患者・利用者やお見舞いの方にも協力いただいており、病院中皆マスクだらけ！ ちょっと異様な光景かも…

うがい、手洗い、しっかり予防して、十分気をつけましょう！

